



ミュージカルの台本をグループで作成



台本、舞台配置図を見ながらの練習場面

活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

個別学習

個に応じた学習

調査活動

表現・制作

協働学習

協働制作

活用した機器等

Chromebook
iPad
プロジェクター

活用したアプリ等

Google Classroom
Google ドキュメント
Google Forms
YouTube

学習のねらい

ミュージカルを企画・発表し、相互に鑑賞する。グループのメンバーで役割を分担し、個々の能力に見合った役割を果たし、協力して作り上げる。

学習の流れ

導入 ミュージカルの形式について学習し、作品を（教室でみんなで／夏季休業中の課題として個人で）鑑賞する。

展開 個々に鑑賞した作品をもとに、各グループで作品を選んだ上で、そのステージについての調べ学習を行い、配役を決め、演奏の練習を行う。
また、演奏以外に、台本作り、舞台配置なども役割分担をする。

まとめ 完成した各グループの作品を発表しあう。
その後、発表の様子を録画した動画で他クラスの作品も鑑賞し、振り返りを行う。

ココでICTを活用！

YouTubeなどで、ミュージカルのステージに関する様々な内容について各グループが調べ学習を行った。

それを活かして、自分たちの台本や舞台配置をGoogle ドキュメントで共同で編集しながら作り上げた。

ミュージカルの練習の段階では、録画機能で実際にその様子を撮影し、動きなどを確認することに端末が活用された。また、本番の発表の様子についても、それぞれの動画をGoogle Classroomで配信して全員が視聴・鑑賞できるようにした。

鑑賞の後の振り返りはGoogle Formsで行い、集約できるようにした。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

調べ学習では、ミュージカルの題材のみでなく、YouTubeなどで同じ高校生のステージを調べたり、英語の発音の音源を調べたり、こちらが思っている以上の内容を得られていた。また、実際に録画してどのように映るのかなど練習にも活用された。台本は共同編集することで、改訂がすぐ反映されそれぞれに情報がいきわたるので、紙ベースよりも時間のロスが少なく、生徒どうしも効率的に作業できた様子である。しかしながら、実際練習で動き出すと、Chromebookだけでなく、iPadを併用できるとなお効率的であると考えられる。

舞台がホールではなく教室であっても、本番であること、さらに、動画に映り多数の人に観られる機会があることで、生徒がより緊張感をもって一生懸命取り組むきっかけになったように思う。